

## 気配りの 物おくの冷やし置 清水かな（井月）

家庭にまだ冷蔵庫がなかった子どもの頃、農家では畑で採れたトマトやキュウリを冷たい清水に浮かべ、冷やして食べました。夏の暑い盛り、学校から帰るとおやつの代わりに、冷たいトマトやキュウリを丸かじりしたものです。今にして思えば、あれも親の心配りだったのでしょう。

\* \* \* \* \*

新型コロナが一段落し、6月には学校が再開されるなど日常生活が少しずつもどってきた感があります。しかし、感染の第2波に備えて「新しい生活様式」といった感染防止対策の徹底が今後も求められます。

各区は、夏祭りや敬老会などの行事を、感染防止の観点から見直すことになりそうです。これを機に区民の知恵と工夫を結集し、これからの時代にマッチした行事のあり方を考えるのも意義あることと思います。

## 沢渡高齢者クラブが公民館に花の苗植え

（6月4日 公民館）



沢渡高齢者クラブ（寺山増一会長）は公民館の周りに花を植える奉仕活動を行いました。

クラブの恒例行事で、この日は会員約40人が参加して、北澤会員が種から育てたマリーゴールドを1株1株ていねいに植えていました。

ただ、植え付け後に行っているお茶を飲みながらの交流会は、新型コロナ感染予防のため、今年はいりませんでした。

## 伊那山の会が「権現づるね」を整備



伊那山の会は6月、権現山から将基頭山へ続く登山道「権現づるね」の整備に汗を流しました。

一日目は16人が参加し、刈払機を使って生い茂るクマザサを刈り払い、二日目は10人が出てチェーンソーで倒木を撤去。宮田村境の「辻山」まで通行が容易になりました。

参加者のひとり唐木真澄さん（小出一区）は「権現づるねはかつてウエトンも歩いた歴史あるルート。近年は通る人も少ないが、地元としてなんとか守っていきたい。今年の市民登山は、10月3日に日帰りで辻山まで登り、伊那市を眺望する計画があります」と話しています。

## 支所・公民館からのお知らせ

◇毎年8月15日に開催している成人式は、今年度は来年1月10日（日）に延期して開催します。式の時間や内容は、区長会や新成人代表を中心とする実行委員会で話し合っ決めてます。

◇支所・公民館へ来た方に、入り口で「来館票」記入をお願いしています。万一、感染者が出た場合、濃厚接触者へお知らせするためのものです。個人情報保護に配慮し、感染症対策以外の目的に使用することはありませんので、ご協力をお願いします。

◇7月からふれあいスポーツ教室「ふわっとテニス」を再開します。参加希望の方は公民館までお申込みください。

## 7月～8月 西春近の主な行事（予定）

- 7月 ~~2日(木) 自治協議会小委員会（中止）~~
- ~~3日(金) 成人式実行委員会（延期）~~
- 4日(土) 財産区 林道犬田切線草刈り作業
- 7日(火) 公民館 かるがも学級開講式
- 8日(水) 民生児童委員会7月例会
- 10日(金) 7月定例区長会
- 11日(土) 財産区 境界踏査
- 13日(月) 公民館 女論の会開講式
- 14日(火) 公民館 かるがもベビーズ開講式
- 〃 〃 万年青の会開講式
- 15日(水) 防犯協会打合せ・研修会
- 17日(金) 公民館 父居屋の会開講式
- ~~19日(日) 権現山登山道・桜の里整備作業（中止）~~
- 20日(月) 公民館 バラスポ教室開講式
- ~~27日(月)～29日(水) 公民館てらこや塾（中止）~~
- 8月 15日(土) 西春近地区成人式（1月に延期）

\*新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定が変更になる場合があります。

\*詳しくは西春近支所・公民館（電話72-4178）へお問い合わせください。

### ～西春近をふり返る（2）～

#### 【 小出村の定書名前帳 】

天保4年(1833)の大飢饉に際して11月に小出村が申し合わせた儉約の定め書きに158名の村人が記名・押印した古文書を紹介します。

天保の飢饉は享保の飢饉、天明の飢饉と並んで江戸の三大飢饉に数えられます。飢饉の原因となる凶作は気象条件がもとにあり、西日本型と東日本型に大別されます。享保の飢饉は西日本中心、天明の飢饉と天保の飢饉は東日本が中心でした。

伊那地方においては、天保4年から7年まで天候が不順で凶作が続き、飢民が続出したうえ疫病の流行が重なって、人々の困窮は深刻になりました。

伊那部村の医師須田経徳の手記『天保雑記』によれば、ドングリヤトチノミなどの木の実は不作で、人々はアザミやオオバコやカンゾウなど野の草を摘んで食べたほか、桑の葉に糠を混ぜたり、稲わらを粉にしたりして食べたといいます。いかに食べ物が不足したかを知ることができます。

ちなみに、天保7年に起きた「大塩平八郎の乱」はこの天保の大飢饉が引き金になりました。

#### 定

- 一 平日の暮し方については、御触通り朝飯一食は麦・粟・稗・大根・蕪菜取混ぜ、米の割合を少しにする事
- 一 昼飯一食は小麦粉・大豆粉取混ぜ、つみ入にし、或は団子類・野菜等多めに用いる事
- 一 夕飯一食は蕎麦粉かき・稗粉かき・干葉雑水等を用いる事
- なお、やむをえず職人を頼む際、食物は右に同じ、酒は出さない事
- 一 神事祭礼は、お神酒だけとし、大勢の参加は遠慮し、また五節句の配り物などはお互いに印ばかりにする事
- 一 御祝儀(婚礼)の客呼びは親類・隣家だけにし、分相応にできるだけ質素にする事
- 一 御七夜のお祝いは吸物・焼物なし、膳はできるだけ手軽にし、祝品も印ばかりにする事
- 一 愁歎(お葬式)は親類や組内以外は弔問のみ、仏事は膳だけ引き物なしの手軽にする事
- 一 他村へ縁組し、その村の人々からの見舞は、お互いに断るべき事
- 一 大根・蕪菜・芋・茄子・ささげ・芋のくき・芋の葉・にんじん・ごぼうの葉・ほうきの実・あかぎ・きく菜の類はよくよく気をつけ食物の足しにするよう干場に貯めておき、粉糠(こぬか)・干粕・醤油粕・酒粕・麦麩・きらす(うのはな)等まで常々心懸け、干すか塩漬にし、味噌汁などに用いる事
- 一 藍を刈り取りした跡や、わずかな空き地でも蕪菜などを蒔いて、食物の足しにするよう心懸ける事
- なお、田んぼに麦など蒔いておいたり、どんなものでも食物の足しになるものを採って貯えておく事

(以下省略)

近右衛門 ㊤  
(以下 157 名連名)

(小出共有文書)